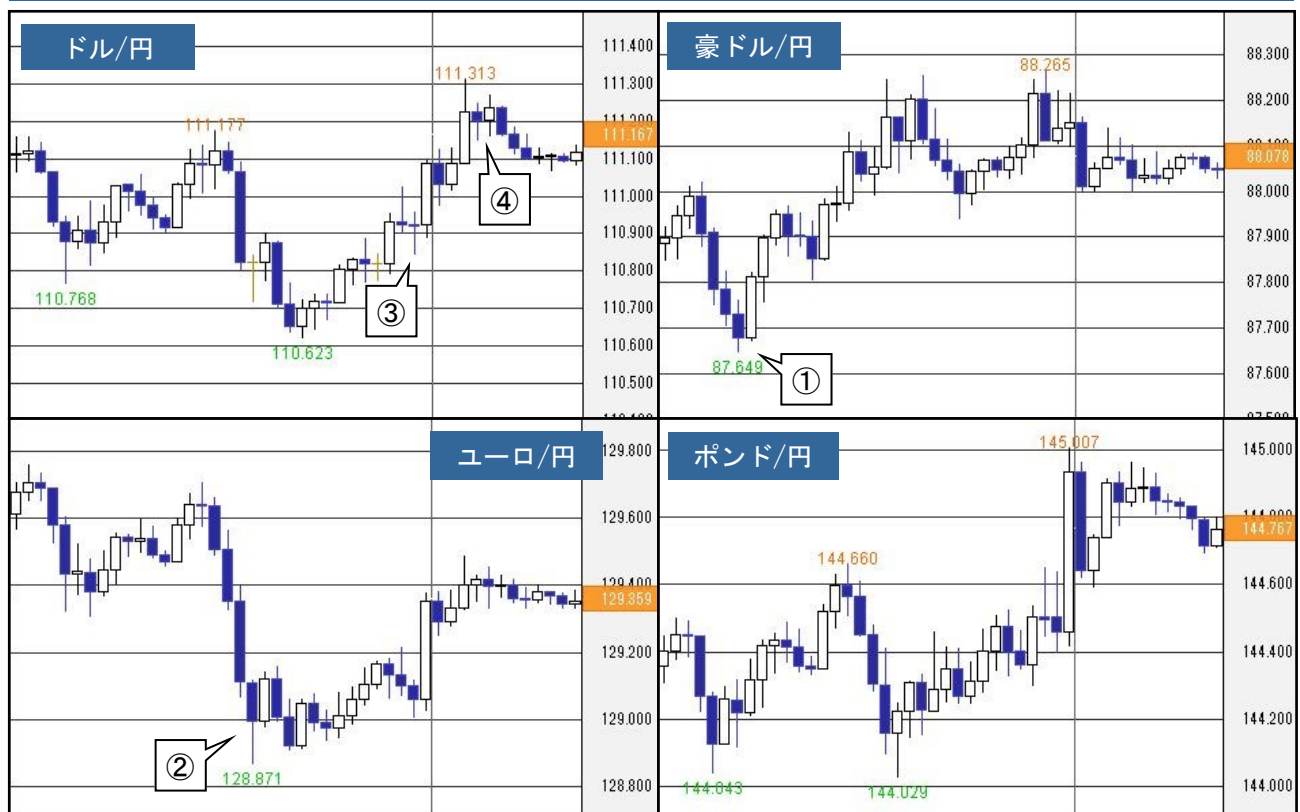


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

7月25日(火曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## ドル/円、目先は反発余地

### 24日(月)の為替相場



期間：24日(月)午前7時00分～25日(火)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 日経平均株価が2万円の大台を割り込んで始まるとリスク回避の円買いが優勢となり、豪ドル/円は87.60円台まで下落した。
- ② 独7月製造業PMI・速報値が58.3と市場予想(59.2)を下回り前回(59.6)から低下し、独7月サービス業PMI・速報値も53.5(予想54.3、前回54.0)となった。これを受けてユーロ売りが強まるとユーロ/円は129円台を割り込んだ。なお、その後に発表されたユーロ圏7月製造業PMI・速報値は56.8(予想57.2、前回57.4)であった。
- ③ 米6月中古住宅販売件数は552万件となり、市場予想(557万件)および前月(562万件)を下回ったが、ドルの反応は限定的であった。
- ④ トランプ米大統領の娘婿であるクシュナー大統領上級顧問は、昨年の大統領選における陣営とロシアとの接触疑惑について上院情報委員会で非公開の証言を行った。クシュナー氏は、ロシア当局者と昨年4回にわたり接触したことを認めつつも「いかなる外国政府とも共謀しなかった。また、選挙陣営内で共謀した人物も認識していない」「不適切な接触はなかった。民間セクターにおける自分の事業ためにロシアの資金を融通したことはない」などと述べた。

24日(月)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19975.67 (▼124.08)	5688.071 (▼34.770)	3250.599 (△12.617)	7377.73 (▼75.18)	12208.95 (▼31.11)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21513.17 (▼66.90)	0.0720% (△0.0050)	2.678% (▼0.020%)	1.188% (△0.013)	0.508% (△0.002)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3567% (△0.0165)	2.2552% (△0.0177)	46.34 (△0.57)	1260.70 (▼0.30)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.600-111.800	128.600-130.400	87.500-88.600	144.000-145.800

【ドル/円】

昨日のドル/円は日足の一目均衡表の雲下限を割って110.60円台まで下げたが一時的となり、その後111円台を回復して引けた。チャート上に下ヒゲが長く実体の短い「トンボ」が出現した事もあって、目的的には反発の余地があると見る。75日移動平均線(執筆時111.528円)を突破すると、13週移動平均線や26週移動平均線が重なる111.80円前後に向けた一段高もあるだろう。なお、本日は米国で7月消費者信頼感指数や2年債入札(260億ドル)などが予定されている。

執筆者: 川畑

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/25(火)	13:00		(ユーロ圏) メルシュECB理事、講演	—	—
	17:00	○	(独) 7月Ifo景況感指数	115.1	114.9
	17:00		(日) 片岡・鈴木日銀審議委員、就任会見	—	—
	22:00		(米) 5月住宅価格指数(前月比)	+0.7%	+0.5%
	22:00		(米) 5月S&P/ケースシラー住宅価格指数(前年比)	+5.67%	+5.75%
	23:00	○	(米) 7月消費者信頼感指数	118.9	116.5
	23:00		(米) 7月リッチモンド連銀製造業指数	7	7
	26:00		(米) 2年債入札(260億ドル)	—	—
	26:00		(英) ホールデン英MPC委員、講演	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。